

民族共生象徴空間（ウポポイ）開設をイオンでPR 「アイヌ工芸品リレー展示」をイオンモール釧路昭和で開催！

イオン北海道株式会社（以下、当社）は、民族共生象徴空間交流促進官民応援ネットワークの一員として、民族共生象徴空間（愛称：ウポポイ）の開設機運を盛り上げるために、「アイヌ工芸品リレー展示」を6月11日（火）～7月10日（水）の期間、「イオンモール釧路昭和」にて開催いたします。

「アイヌ工芸品リレー展示」は、アイヌの工芸品展示を通してアイヌ文化の素晴らしさを多くの方々にお伝えすることで、2020年4月24日に白老町にオープンするウポポイの開設に向けた機運醸成を図り、その取り組みをウポポイの開設までリレー方式でつないでいくという取り組みです。2018年12月10日（月）より大通ビッセを皮切りにスタートし、当社は9番目の開催となります。期間中は、公益財団法人アイヌ民族文化財団が所有する貴重な工芸品を展示いたします。

当社は、今後も、北海道との連携を深め、北海道の活性化や道民の皆さまへの新しいサービスの創出に取り組んでまいります。



<リレー展示のイメージ>

【「アイヌ工芸品リレー展示」の概要について】

展開期間：2019年6月11日（火）～7月10日（水）9時～21時

入場無料

展開場所：イオンモール釧路昭和 1F 専門店街ライトオン前通路

展 示 品：木彫「見逃してくれよ 蛙」：貝澤 徹 作

イタ（盆）：貝澤 徹 作

マキリ（小刀）：貝澤 守 作

タンパクオブ（喫煙具）：貝澤 幸司 作

※作品の状態等により展示品が変わる場合があります。

【本件に関するお問い合わせ】

イオン北海道(株) 総務部広報グループ 佐藤・山崎 電話：011-865-9111

ご参考

■民族共生象徴空間交流促進官民応援ネットワークについて

2020年のアイヌ文化の復興等のナショナルセンター「民族共生象徴空間（ウポポイ）」の開設に向け、関係行政機関や関係団体、道内経済関係団体が一体となって、100万人の来場者目標を掲げた象徴空間への誘客促進に取り組むとともに、道内各地のアイヌ文化振興の取り組みや食・観光等の地域の多様な魅力とつなぎ、国内外への総合的な情報発信を強化するなど、オール北海道で、アイヌ文化の創造発展と道内経済の活性化・地域創生の好循環を図ることを目的に、2016年11月9日に設立されました。

専用サイト https://www.akarenga-h.jp/symbolic_space/

QRコード



■ウポポイ（民族共生象徴空間）について

アイヌ文化の復興等に関するナショナルセンターとして、アイヌの歴史、文化の理解促進や、将来へ向けてアイヌ文化を継承し、新たなアイヌ文化の創造発展につなげるための拠点として北海道白老町のポロト湖畔を中心に整備されます。2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に先立ち、年間来場者数100万人を目標に同年4月24日にオープン予定です。

専用サイト <https://www.ainu-upopoy.jp/>

QRコード

